

学校だより



# ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立  
旭小学校  
第9号  
令和3年  
2月17日

TEL0561-53-2035

## 一期一会

校長 浅野 謙一

学校生活の一年間を締めくくる3学期ですが、2月の声を聞くと次の学年へ向けての準備が大切になってきます。特に6年生は、中学校という新しい環境に飛び込むことになります。旭小学校は、旭中学校、東中学校、その他の中学校と分かれて入学することもあり、期待や不安が入り混じった複雑な気持ちなのではないでしょうか。

『植物はすごい』（田中修著）の中に、「植物たちは、タネができあがると強い子どもが育つように、子どもたちを新天地へ放り出すのです。どんな環境に出会っても、強く生きていってほしいとの思いが込められているのです。新天地へ放り出される子どもたちも、その期待を担って親元を離れていきます。植物たちの“親離れ”“子離れ”のよさはすごいのです」と書かれています。

6年間の小学校生活で、子どもたちは随分と大きくなりました。身体の成長は、見ればすぐわかりますが、心の成長はどうでしょう。心の成長は、様々な行動に現れています。友人関係はどう変化したでしょうか、学習に取り組む姿勢は、趣味やこだわりは、将来の夢は、親への態度や言葉遣いは等々、子どもの何気ない変化に目を向けることが、次への備えになります。学校においても、子どもたちの成長に目を向けながら次の学年に向けての準備を進めていきたいと思えます。

さて、話は変わりますが、「一期一会（いちごいちえ）」ということわざを知っていますか。茶の湯で、一生に一度の出会いのことで、その時の出会いを、二度と巡り会える機会がないものと心得て、一つ一つの出会いを大切にすべきである、という戒めの言葉です。

人が一生で出会う人の数は何人ぐらいだと思いますか。答えは、人生80年として、何らかの接点を持つ人が30,000人、同じ学校・職場や近所の人が3,000人、親しく会話を持つ人が300人、友人と呼べる人が30人、親友と呼べる人が3人だそうです。確率に直すと、友人と呼べる人と出会う確率は、2億4000万分の1で、親友と呼べる人と出会う確率は、なんと24億分の1になります。人との出会いが天文学的奇跡だということは、この数字を見ると明らかですね。すれ違った人、好きな人、嫌いな人、助けられた人、喧嘩した人、優しい人、厳しい人、奇跡のように巡り合っているからこそ、一つ一つの出会いを大切に、感謝していきたいですね。

卒業式・修了式まであと一ヶ月あまりとなりました。小学校生活での先生や友人との出会いもまさに「一期一会」です。出会いに感謝して、コロナ禍の中で、通常の形での式はできないかもしれませんが、子どもたちが希望に胸を膨らませ、旅立つことができる卒業式・修了式にしていければと考えています。

## 学校の様子

緊急事態宣言が延長されている中ですが、学校では、マスク着用、検温、手洗いなどに配慮しながら子どもたちは元気に過ごしています。今年度は、1年を通して授業参観を行うことができずに申し訳ありませんでした。最近の学校と子どもたちの様子です。



【Zoomで学校集会】



【1年生：生活科】



【2年生：体育】



【3年生：音楽】



【4年生：算数】



【5年生：体育】



【6年生：書写】



【入学説明会】

## タブレット貸与式

GIGAスクール構想の一環として、尾張旭市より一人1台タブレットが貸与されました。タブレットは、卒業するまで持ち上がっていきます（1年生は、1年生用を使用し、2年生から新たにタブレットが貸与されます）。情報モラルや大切に使用するための約束を伝えながら各クラスで貸与式を行いました。貸与式がすんだ学級は、国語、算数、理科、図工、道徳などいろいろな場面で試行錯誤しながら使用を始めています。自分の名前が貼ってあるタブレットを大切に使用し、自分で学習したことを積み重ねていってほしいと思います。



### 【スクールガードの皆様ありがとうございます】

尾張旭市から長年子どもたち見守ってくださったスクールガードの皆様には感謝状が届いています。

また、1年生の子どもたちも日頃の感謝の思いを込めて手紙を書きました。子どもたちを見守っていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

